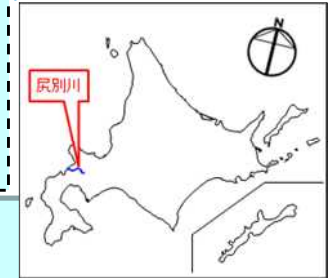


水防訓練：【尻別川】「水防工法実技訓練」を関係機関と連携し実施しました



◆洪水時における円滑な水防活動の推進を図るとともに、防災関係機関の水防体制の強化に資することを目的に、蘭越町主催による「蘭越町水防工法実技訓練」を実施しました。

訓練は、蘭越消防団(水防団)による水防工法の実技訓練、災害対策用排水ポンプ車の運転、見学者を含め防災意識の向上を目的とした水防に関するパネル展示を行いました。

訓練の概要

◆実施日時：平成30年6月15日(金)9:30~11:30

◆場 所：蘭越町 尻別川河川公園

◆参加者：蘭越町、蘭越消防団(水防団)、蘭越建設協会、羊蹄山ろく消防組合、北後志消防組合、岩内・寿都地方消防組合、後志総合振興局、北海道札幌方面倶知安警察署、陸上自衛隊、小樽開発建設部

計 10機関 152名 (うち水防団80名)

水防工法実技訓練の様子



参加者整列



色々な水防工法で使用する土のうの作り方を
土のう製作



排水ポンプ車訓練



堤防から水が溢れ出ることを防ぐ
改良積み土のう工



水の漏れを拡大を防ぐ
月の輪工



水防災パネル展示

水防とは

洪水時には、河川管理者が整備している堤防等の治水施設の効果とあわせ、市町村の地域住民が実施する水防活動によって、洪水被害の拡大を防いでいます。水防とは自らの地域を自らの手で守る自衛の減災活動であり、その中心となるのが水防団です。

洪水の際に堤防から水が溢れ出る(越水)、水の流れて削られる(洗掘)、亀裂、崩壊、堤防もしくは地面からの水漏れ(漏水)などによる被害の拡大を防ぐための様々な水防工法があります。

・水防団をはじめとする参加者は、真剣な表情で実践さながらの実技訓練に取り組みました。

◆尻別川では、大規模水害に対し「迅速・確実な避難のための防災意識向上」、「社会経済被害の最小化」を目標とし、関係機関と連携して、防災教育、防災講演会、防災訓練など「減災に関する取組」を地域住民を含め実施しています。

「尻別川の減災に関する取組方針」、取組事例については、小樽開発建設部ホームページに掲載しています。

(参考) 小樽開建HP：<http://www.hkd.mlit.go.jp/ot/koumu/vu2tjq0000000oym.html>